



# 健康ビジネス産業の創出にむけて



近年、沖縄は「健康」「長寿」「癒やし」の地として、その豊かな自然や伝統的食文化などが話題になっており、さまざまなビジネスが展開されています。県では、健康ビジネスに焦点を当て、科学的根拠に基づいた健康増進プログラムを開発し、沖縄健康ブランドの確立をめざしています。

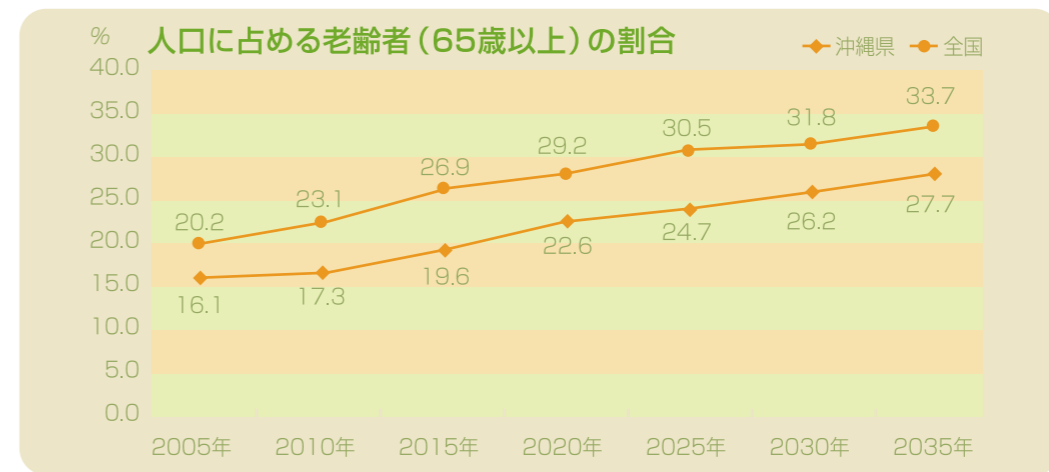


伸びていく健康市場

「歳をとっても健康でいたい」「これは全ての人に共通する願いです。我が国の高齢化は急速に進んでおり、およそ二十五年後には、日本人の三人に一人が六十五歳以上の高齢者で、全国一平均年齢が若い沖縄県でも四人に一人が高齢者という状況になるといわれています。

また、中年を中心に「メタボリックシンドローム」が広がっており、どのようにして健康を保つかということが全県民的な問題となっています。

このような状況のもと、人々の健康に対する関心が高まってきています。健康食品、癒やしグッズ、ダイエット器具など、たくさんの健康関連商品が販売されており、健康市場の規模は、平成十四年の約五十六兆円から平成二十二年には約七十五兆円にまで拡大すると予測されています。



なぜ、沖縄で健康ビジネスなの？

沖縄は、健康・長寿、そして癒やしの島としてのイメージが定着しています。

健康長寿を支えてきた、沖縄の伝統食、豊かな自然がもたらす癒やし効果、ウコンやもろみ酢などの健康食品、さらに最近ではエステ・スパがその魅力を増大させています。

本県を訪れる観光客の多くは、豊かな自然や文化を楽しむとともに、「癒やし」や「健康」を求めていると考えられています。

また、最近では「健康旅行」が注目されています。人間ドックや高度ガン検診などを旅行に組み入れたり、運動や癒やし系の趣味を旅のテーマにするもので、健康に関心の高い中高年層に人気があるようです。

このような健康ビジネスは、本県でも大きな発展が期待されています。

健康ビジネスは、観光振興ばかりでなく、県民全体の健康の向上にも寄与します。

多くの県民が県産の健康関連商品を利用することで、県民一人ひとりの健康が増進し、ひいては本県の健康・長寿ブランドの向上につながっていきます。

健康ビジネスの発展のために

県では、今年度から「健康ビジネス支援事業」を実施しています。これまで、沖縄の伝統食や保養観光などは、健康にいいとのイメージでそのビジネスを展開してきました。

しかし、健康意識の高い消費者に対しては、イメージだけでなく、「なぜ」「どの程度」といった具体的なデータを提示し、効果について理解してもらうことが重要となります。

この事業は、これまで「なんとなく健康にいいらしい」とされてきた健康関連商品について、実際にモニターに体験してもらい、メディアカル

チェックなどを行って、その効果データの収集方法を確立しようとするものです。

また、医療分野も含めた健康ビジネス関連事業者のネットワークを構築します。このネットワークにより、観光旅行にエステ・スパ+健康伝統食、人間ドックツアー+ダイビングなどといった魅力的な健康関連商品を開発していきます。

本県の健康ビジネス発展のためには、「沖縄＝健康・長寿県」のブランドイメージがとて大切で、県民一人ひとりが健康であることは、このブランドイメージにとっても、欠かせないものです。

日頃から自分の健康状態をチェックし、必要に応じて健康関連商品を利用するなどして健康を保つようしましょう。

